

事業所における放課後等デイサービス自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 30日

事業所名 いきいきHAPPY STEP津福

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	2	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	7	2	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	1	0		・動線の手すり等
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	3	0	0	・業務内での定期的な会議、終礼を取り入れ改善している。 ・非担当制で多くの職種が関わるように工夫している。	終礼をしっかり活用し、業務の見直しを行っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5	0	0	・会社の内部強化室による業務等のチェックを行っている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	0	0		毎月勉強会を実施している。今後も内容を向上させ継続する。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	0	0	・ご家族へのアセスメントは随時行っている。そこで出た課題に対しても申し送りながら取り組めるようにしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	0	0		・事業所用のツールはあるが放デイ対象児に当てはまらないものがある為、さらに更新し分かりやすいツールを作っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	0	1	・色々な視点で関わり共有している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	0	・子どもの興味のあるものと苦手なことを組み合わせながら実施。心配な継続課題を行い、それ以外も必ず取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2	0	1	・環境変化を考え支援している	・平日、休日、長期休暇も個別は基本変わらない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	0	0	9	0	・個別療育の実施を行っている。 個別計画をたて実施。 集団活動の計画作成はしていない	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	0	0	・事前の記録の確認、分からないことや確認したおきたいことはスタッフ同士でやり取りしています。		

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	0	0	・基本はみんなに伝えるように記録に残す。特記事項などはノートや終礼で共有している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	0	課題の目的や評価も入れ込みながら実施している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	0		6か月に1回のモニタリングとケースカンファを随時行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	4	1	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1	0	0		・参加後の情報共有が今以上に必要。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている。	7	2	0	0	・必要に応じて実施している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	4	0	0	・ご家族と一緒に 行っている。 ・家族との情報 交換している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	0	0	0	・にじいろノート にて実施。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1	0	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3	0	0	・必要に応じて実施している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	7	1		個別のため交流無し
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	1	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	0	療育後にご自宅での状況も確認しながら振り返りを実施している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	3	1	・相談対応は 行っている。	・ペアレントトレーニングのスキルや知識向上必要と考える。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	6	1	・今後、整備予定。	・父母会の開催なし ・今後、コロナ対策も考慮し家族会などで支援できればと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0	0	苦情があった場合は、スタッフ間でも共有・報告書を作成し、繰り返さないための振り返りを行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	2	1		・ブログによる発信を行っています。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	6	0	・今後、整備予定。	・行事を行っていない。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2	0	0		・マニュアルあるが周知の工夫必要。 ・保護者への周知できてない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	0	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	0	年1回の勉強会と、検討課題がある場合は情報共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	4	0	1		・現在の所は、左記の状態はない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	4	2		・個別療育で、食事提供はない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0	0	・ノートに記載し管理している。	